



同友会三つの目的

「よい会社、よい経営者、よい経営環境をめざす」

②同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい



「太陽と月をモチーフにして昼も夜も患者さんのことを考えケアする」

良い関係を築く

明るいロゴは、病院の敷居を低くして、病院嫌いを少なくしたい、患者様との良い関係を築き、「地域で最先端の医療を」発信するメッセージです。

「太陽と月をモチーフにして昼も夜も患者さんのことを考えケアする」



専門家として正しい情報発信を

医療法人麻の会 首里城下町クリニック 理事長 田名 毅 氏
(那覇支部東地区)

医療と経済の架け橋に

医師を志したのは、祖父が開業医であったことと、「どんな時代でも医療は社会に貢献できる、社会から必要とされる仕事」

地域で最先端の医療を

太陽と月は、病院スタッフ、患者さんを表し、協力し合いながら健康を守っていくという姿勢を表現。新婚旅行で訪れたメキシコのお土産からヒントを得てデザインしました。

医師を志したのは、祖父が開業医であったことと、「どんな時代でも医療は社会に貢献できる、社会から必要とされる仕事」

正しい知識を理解してほしいとの考えから開院当初から地域向け講演会を開催、直近は百名近くまで参加者が増えました。コロナになってからはY

事」として選びました。大学病院勤務などを経て二〇〇一年に開業。沖縄県が二六シヨックと働き盛りの県民の健康状態が低下した時期です。テレビでも健康番組が盛んに放映。ただ専門家として、疑問を感じる情報もあり、正しい情報発信の必要性を感じました。

中小企業として学ぶ

Out tubeに切り替えます。YouTubeの良さは繰り返し視聴する人が増えたことです。開業して二十年。沖縄の肥満・健康問題とクリニックの歴史は並行しています。

同友会へは高校同級生の下田さん、親交のある喜納代表に誘われて入会。職員数七十二名でクリ

患者様の 伴走者として

ニックも中小企業として、経営者の学びが必要と考えました。会の行事参加は仕事の都合で厳しいのですが、同友会大学は一年間出席し、最優秀賞を受賞。その後同友会大学「大学院」の講師も務めるなど、真面目な人柄がうかがえます。「同友会では多職種の人々と交流できることが楽しいです。」と語り、異業種の方々との関わりで自分の持っている知識をどう社会に活かしていくかを課題としています。

ただ、患者様も医者の方の伝えることを全て実行するわけではないで、「患者様との接し方をもつて、伴走者として、その人自身が生涯元気で過ごすことをサポートする。ガンなどの病気であれば、できるだけ早期発見し、早めの治療を提供することが医者としての基本姿勢です。」それには、どのような伝えたら、心が動き、関心を持つのかは自身のライフワークで

自分時間は

二頭の愛犬と毎朝散歩、美術館や美術番組で医療以外の時間を持つようになっています。「ニライみらい」は医療以外の情報として楽しみにしています。

沖縄の健康向上のために

中小企業の多い沖縄県で社員を大切にできる環境づくりの必要性をどのように伝えていくか、社会へのアンテナを持ち続けるために医師会活動への参加、産業界としても積極的に関わっています。



《会社概要》
医療法人麻の会 首里城下町クリニック
理事長 田名 毅 氏
(那覇支部東地区)
所在地 / 沖縄県那覇市松川3丁目18番30号
TEL / 098-885-5000
業務内容 / 医療 (診療所)

茶論

二年前の五月、私は遙か南米パタゴニアの地に立つていました。ペリト・モ

レノ氷河を目指し、世界自然遺産のロス・グラシアレス国立公園に到着。氷河の面積は約二五〇平方km、一番厚い場所が約七〇メートルとまるで氷の大地。展望台からは延々と続く氷の崖が見えます。早速、ボートに乗り込み氷河に近づくと、そこは透き通った青い湖にそびえ立つ巨大な白い氷の世界。その時、六十メートルはある氷の壁がゆっくるとはがれ、崩れながらバーンと水面に当たり轟音が響き渡り、落ちた氷の壁は、静かに水中に吸い込まれていきました。一日当たり約二メートルの速さで氷塊が落ちますが、地球温暖化の影響で後退する氷河が多い中、後退していないこの氷河は珍しいそうです。自然の織り成すスペクタクルな光景は、今でも目に浮かぶ生涯の宝となりました。▼自身のガン治療の終了と会社立上げの頃からのビジネスパートナーの還暦を兼ねたこの南米旅行は、働いて初めてとった長い休暇でした。自由に海外旅行ができなくなると一年を超えてしまいました。思い出せば、思い出せば、思い出せば、あの日の氷河ウイスキーを思い出しながら家呑みという。(石原地江)

那覇支部三月支部例会
若手経営者としての葛藤と、
同友会の仲間への感謝を語る



浅井一美氏

去る三月十九日に沖縄産業支援センター、ZOOM併用により那覇支部三月例会が開催され、七十四名が参加しました。

今回は那覇支部西部地区幹事で株式会社HITOMIの浅井一美社長が経営体験を報告。すべての人を、心もカラダも元気にしたなどの想いから整骨院を創業して六年目となる浅井社長。志高くスタートした経営者人生でしたが、順風満帆とはいきませんでした。資金繰りや社員教育、そもそも経営

者の仕事とは等、悩んでいる時期に同友会に入会。右も左も分からないまま仲間づくり委員となりますが、今の自分が同友会の仲間づくりをしている場合なのか、悶々とした状況で活動を続けました。しかし、那覇支部西



熱心に耳を傾ける参加者

新会員歓迎オリエンテーションin宮古
充実したオリエンテーションで
人が集う大切さを再認識

三月十二日、JTADーム宮古島にて、新会員歓迎オリエンテーションが、四名の新会員（宮国哲司氏（MK BRAND）、下地克子氏（NPO法人マーズくこりもや）、新城竜太氏（株）宮古新報）、愛川直樹氏（アナタビ宮古島）と、同友会に興味のある方もゲストで参加し、十五名の参加で開催されました。支部では初の試みである同友会概要説明の「紙芝居」を福原恵津子氏（株）りつぷる）に、ぶっつけ本番であったにも関わらず、わかりやすく説明していただきました。「同友会の歴史と理念」と「バッジ贈呈」を行っ

た喜納朝勝代表理事から、同友会のこれまでの歩みとともに労使見解三つの目的、自主・民主・連帯の精神を体系的にわかりやすく説明していただき、また、優れた先輩会員の活動が脈々とつながり現在の同友会があると学びました。

森山賢氏（株）琉球補聴器）による「会員体験報告」では、先代から社長を引き継いだものの、当初は先代への反発心が強く、いわゆる「ヤンキー経営者」だったそうで

社労士・コンサルタント
青山喜佐子の
知って得する
シリーズ162

アンコンシヤスパイアスとは「無意識の偏見・無意識の思い込み・無意識の偏った物の見方」のことです。例えば「離島出身は酒が強い、血液型Aの人は几帳面」など勝手な思い込みのこと。最

近の働き方の多様化やハラスメント防止でよく耳にするようになりました。職場でアンコン（アンコンシヤスパイアスの略）が問題になるのは、管理職のアンコン発言や態度で組織風土が悪くなる、社員のやる気やチームの人間関係が悪化することです。アンコンの種類として

は、営業は希望しないだろう、家族のいない社員は思いやりが不足しているだろう
・（能力のきめつけ）経験が足りないからムリだろう
・（解釈の決めつけ）上司への報・連・相は当たり前、中間報告がないのは怠慢だ。
・（理想の押しつけ）誰でも簡単にできるのに、な

「これってアンコン？」
チェックしあってみましょう。

「アンコンシヤスパイアス」
気づいてますか



職場の問題に「経営者のせい、評価制度のせい、メンバーのせい」と原因を決めつけるとアン

（プロフィール）
社労士 青山喜佐子
日本産業カウンセラー
大学非常勤講師
市町村行政改革推進委員など
社労士法人 オフィスあるふら
TEL. 098-870-6686

去る三月十二日に、本格炭火焼と沖縄料理なりちの会議室にて、第十四期やんばるじんぶん塾第一講が十九名の参加で開催されました。講師に、マエダ電気工事（株）の真栄田一郎社長をお招きし、「経営者が教えるわかりやすい決算書の読み方」というテーマで学びまし

北部支部第十四期「やんばるじんぶん塾」第一講
経営者が見るべきポイントを学ぶ

決算書の中で、経営者が見るべきポイントを実践的にわかりやすく説明していただき、特に貸借対照表の見方は学びが深いものになりました。前半は真栄田社長の熱いこもった講義を聞き、後半はその学んだものを自社の決算書に照らし合わ

た。多くの社員からの不信感の声によって、ご自身が「真のリーダーになる」と決心し、同友会の学びとともに自己変革を行ってきた事。他にも涙する様なエピソードもお話いただき、とても感動

はり人と人が集まり、その場の体感温度を感じられる場の大切さを再認識しました。最後に、オリエンテーションの為に、お忙しい中、お越し頂きました喜納代表理事と森山氏に感謝いたします。ありがとうございました。（ブルーファーム・西川卓治）



わかりやすく解説する真栄田社長

せるワークの時間でした。実際に自社の決算書を使用することで、ワークに対しての集中力も高まり、かつ、その時点で経営課題も把握できるなど、非常に有意義な時間となりました。

講義のあとは、同会場で、講師の真栄田社長を交えて懇親会が開催され、講義中には聞けなかったことや、意見交換等が活発にされました。（株）琉球若草・大森陽介

社内コミュニケーションで情報共有・業務効率アップ。リモートワークでの活用も可能です。その他、士業相談や補助金・助成金の情報収集など様々な機能がついて月額三、三〇〇円（税込）にてご利用いただけます。

かいぎん Big Advance
▼概要動画
QRコード

八重山支部三月支部例会 スタツフミーティングで 経営課題を日々改善

三月十九日、大濱信泉記念館とZoomの併用で八重山支部三月の支部例会が開催されました。報告者には(同)フアイストハンドコミュニケーション・矢崎真一代表の一年三カ月ぶりの再登壇、映画でいうとパート



支部例会開会の様子

二、まさに続編版となりました。障害児の発達支援、放課後デイサービスの事業は三年に一度補助金額が改定となり、先が読みにくい条件下にあります。起業からほとんど拍子に施設を増やせた時期もありましたが、初期に高めに設定した人件費が徐々に負担となつていきます。また、従業員が思ったように動いてくれないなどの葛藤や、資金繰りの難しさを痛感するなど、苦しい経験をする時期が続きました。「なんとかなしい」とそう思った矢先、同友会を通じて知り合っ

宮古支部ジャガイモ掘り&カレー交流会 食べ物を無駄にしない 意識が芽生える

三月六日午前十時より上地和彦例会委員長の下地高千穂地区にある畑で、宮古支部会員交流事業である「じゃがいも掘り&カレー交流会」を開催しました。当日は薄曇りの天気、雨を心配しながらも、会員の家族も含めて八名が参加しました。お仕事で農業に携わる方や趣味で家庭菜園等を

た経営コンサルタントの指導を受け、経営改善計画を作成、スタツフとのミーティングを定期的に行き、より良い全体の理解や行動に向けて日々改善を続けています。その後、報告から熱を

受けたグループ討論では「いかに右腕の存在が大切か。そしてどう育てるか？」について熱い議論が交わされ、とても良い例会となりました。(有)PLANtPLAN・宮良高彰)



家族を交えた交流



外で食べるカレーは最高!

いしさに大変感動しました。普通なら捨ててしまふような物がおいしく食べられるという経験を通して、食べ物を無駄にしないという意識が芽生えてくると同時に、農業の素晴らしさを感じる事ができた交流事業でした。収穫作業の後は、とれたてのじゃがいもやにんじん、玉ねぎを使って上地委員長と奥様が手際よく作ってくれたカレーを参加者で輪になって楽しくおいしく頂きました。ごちそうさまでした!(先嶋産業(株)・友利博明)

女性経営者部会「碧の会」 会員交流委員会Zoom交流会第4弾 クレジットカードの お得な活用法を学ぶ

三月二十六日、碧の会会員交流委員会主催の「withコロナ時代の新しい経営を学ぶZoom交流会第四弾・知って得する法人クレカ活用術」が沖縄産産支援センターとZoom併用で開催されました。講師には(同)フィット副社長の唐沢祐香氏を迎え、「社長さん!ぜひ活用して!!法人クレカであるなお得やこんなお得、こつそり教えちゃいます」をテーマに、すぐに役立つクレジットカードの活用術を教えてくださいました。賢く使いこなせば、資金繰りを改善できたり、高級ホテルに特典無料宿泊できたりといった、実例を交えた話にリアル&Zoom参加の会員も大盛り上がり。多くの質問も飛び交いました。

この一年間、碧の会交流委員会ではZoomの使い方をスタートに、さまざまな活用法を紹介してきました。コロナ禍でもZoomを活用し、果敢に新たな可能性に挑戦する碧の会らしい締めくくりとなりました。(株)力リタス・根橋理香)

ビジネス連携部会「ゆいまゐる」三月部会例会 同友会の「政策要望・提言」から 事業実現!

三月二十三日、沖縄産産支援センターにて、ゆいまゐる三月部会例会を開催。今回は、「同友会の政策要望・提言から事業実現!」のテーマで、(株)夢づくり沖縄・社長の新井良直氏、アーティサン沖縄(株)・社長の比嘉智明氏、(株)okicom・営業部長の波平恵太氏の三氏に報告いただきました。「小規模事業者IT導入支援事業」は、生産性の向上に資するITツールの導入・活用支援に要する経費の一部を補助することで、中小企業者及び小規模事業者等の生産性向上の実現を図ることを目的とする事業です。沖縄同友会の政策要望・提言から実現し、コンソーシアムを組んでアンケート調査から分析を行います。各社に足を運び、IT導入の補助を行うことで生産性向上につなげた実働と事例を熱く語り

わが社のポポロ 第298回 (有)リサイクルセンター沖縄 代表取締役 玉城 栄 氏



玉城栄氏

「資源を利用して環境を守ろう」
これは、創業四十五周年を迎えた(有)リサイクルセンター沖縄の経営理念。一九七六年に創業した父から受け継いだ二代目社長の玉城栄さん。会社は読谷村の座喜味に位置し、周りの美しい景色の中に溶け込んでいます。一般廃棄物の回収、資源

物(段ボール、新聞、雑誌等)の回収から、その名の通り、廃物のリサイクルを行っています。玉城栄さんは、二〇一七年四月に二代目として代表取締役社長として就任しましたが、就任前から抱えていたのが組合問

「労使見解」を学び、 組合問題を解決

題。前年には同友会での活動を開始して、同友会の学びを通じ、仲地副代表からの教えに従い、「労使見解」を学び、我慢強く話し合いを続け、解決に持っていくことができました。この四月から第四十二期が始まりました。「経営方針」を社員と共有ができるところまで、まだ進められていませんが、同友会での学びを生かして、「資源を利用して環境を守ろう」という経営理念の実現に努力していき



(有)リサイクルセンター沖縄外観

《会社概要》
(有)リサイクルセンター沖縄
 代表取締役 玉城 栄 氏
 (中部支部)
 所在地/沖縄県読谷村 字座喜味1223
 TEL/098-958-0215
 事業内容/ゴミ収集運搬業、リサイクル業

いと語ってくれました。(株)アイセック・ジャパン・一瀬宗也)

2021年1-3月期 景況調査の結果について(見解)

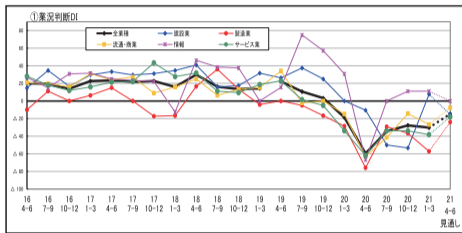
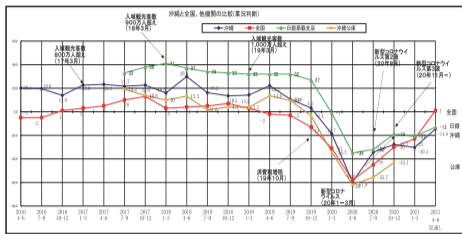
コロナ不況長期化 景況感に三極化 収束後の景気回復に期待

沖縄県中小企業家同友会は、会員企業から抽出した393社を対象に3月1日から3月26日の期間、「1-3月期景況」についてのアンケート調査を実施しました。その結果について見解を發表します。(本文中、特に断りのない限り前年同期比です)

回答企業

- (1) 回答企業 142社 回答率 36.1%
(2) 業種別 ()は実数
製造業 15.5% (22)
建設業 9.2% (13)
流通・商業 29.6% (42)
サービス業 38.7% (55)
情報 7.0% (10)
(3) 規模別 従業員数
<正従業員>平均 35名
<臨時従業員>平均 11名

Table with 4 columns: 業種別, 売上高DI, 経常利益DI, 資金繰りDI. Rows include 全業種, 建設業, 製造業, 流通・商業, 情報, サービス業.



- ①業況判断DIは前期調査から(△27.7⇒△30.3)で後退しさらにマイナス超。
②売上高DIは建設業と情報で大幅に改善し、建設業は0になり、情報は水面(0)からプラス超。
③経常利益DIは建設業と情報で大幅に改善し、建設業は0になり、情報は水面(0)からプラス超。
④資金繰りDIは全業種を平均すると改善しさらにプラス超。建設業と流通・商業、情報で改善しさらにプラス超。
⑤経営上の問題点は「民間需要の停滞」、力点は「新規受注(顧客)の確保」が第1位。
⑥先行きは全業種で改善するも引き続きマイナス超。建設業と情報で大幅に悪化し、建設業はマイナス超に転化、情報は0となる見通し。



「会社にサラダをお届けします」〜福利厚生を活用して会社の健康づくり〜



新鮮な野菜を会社にお届け

健康経営という概念も後押しとなり、そのシステムを構築し、二〇二〇年八月からサラダの宅配事業を開始しました。

た個数を週に二回配達します。その際には、赤マルソウのドレッシングも一緒にお届けしています。

《会社概要》
三重金属工業(株)沖縄営業所
係長 上地 裕介氏
所在地 与那原町与那原3053

新事業で健康経営をサポート

南部支部では、毎年二月に「ワクワク計画」会を開催し、会員の生の声を集め、その声を次年度計画に生かす取り組みを続けています。

最初に、(株)みやぎ農園では鶏卵・野菜・加工品(マヨネーズ)の販売をしており、「①平飼いで鶏のストレス緩和」

健康経営という概念も後押しとなり、そのシステムを構築し、二〇二〇年八月からサラダの宅配事業を開始しました。



企業の枠を超えてPR

「南部支部ブース」初出展
会員の在庫品販売に挑戦
このイベントは、先輩からの体験報告と、「人間だもの」

工夫を凝らし、付加価値を高める
六次産業化委員会先進地視察
「ゆいま〜る」

三月二十一日から二日間開催されたブースでは、企業の枠を超えて、熱心に呼びかけを続けました。

新入局員紹介
同じく沖縄県キリスト教学院大学を卒業後、四月一日から事務局に入局しました。

まん延防止等重点措置が沖縄にも指定されるとの情報を受けて、急遽、午

次に、(株)美らイチゴでは沖縄で難しいと言われているイチゴ生産農業を

私は沖縄国際大学を卒業し、沖縄同友会事務局に入局しました城間智徳です。

緊張の面持ちの新入社員が 合同で学ぶ



挨拶をする喜納代表理事

昨年はコロナ禍で中止した合同入社式・新入社員研修会でしたが、今年

合同入社式の開会挨拶では、喜納朝勝代表理事から一、感謝の心を持つ

南部支部では、毎年二月に「ワクワク計画」会を開催し、会員の生の声を集め、その声を次年度

最初に、(株)みやぎ農園では鶏卵・野菜・加工品(マヨネーズ)の販売をしており、「①平飼いで鶏のストレス緩和」

健康経営という概念も後押しとなり、そのシステムを構築し、二〇二〇年八月からサラダの宅配事業を開始しました。

ンホテル南城で二十三名の新入社員と、採用企業の代表や

三月十六日、ゆいま〜る六次産業化委員会先進地視察

次に、(株)美らイチゴでは沖縄で難しいと言われているイチゴ生産農業を

私は沖縄国際大学を卒業し、沖縄同友会事務局に入局しました城間智徳です。